

新規農業開始経営計画

記入例

1 農業経営を開始する理由

(1) 農業に対する意欲

私〇〇 〇〇は、令和〇年から人手不足の理由で、〇年間にわたり、義兄の家業の農業に従事しました。農業経営状況は水稻と野菜でありましたが、それ以来農業に興味を持ち、農業をやりたいと思っておりました。収穫した野菜は契約している農業協同組合に販売していく計画です。

(2) 農業従事者

氏名	年齢	性別	続柄	年間 従事日数	※法人の場合 役職	区分	農業 経験	経験 年数	経験の 程度・内容
福島 太郎	35	男	本人	250		☒ 専業 ☐ 兼業 ☐ 臨時	☒ 有 ☐ 無	5年	☒ 農業従事経験有 ☐ 研修済 ☐ 手伝い程度
福島 花子	33	女	妻	150		☐ 専業 ☒ 兼業 ☐ 臨時	☒ 有 ☐ 無	2年	☐ 農業従事経験有 ☐ 研修済 ☒ 手伝い程度
						☐ 専業 ☐ 兼業 ☐ 臨時	☐ 有 ☐ 無	年	☐ 農業従事経験有 ☐ 研修済 ☐ 手伝い程度
						☐ 専業 ☐ 兼業 ☐ 臨時	☐ 有 ☐ 無	年	☐ 農業従事経験有 ☐ 研修済 ☐ 手伝い程度
						☐ 専業 ☐ 兼業 ☐ 臨時	☐ 有 ☐ 無	年	☐ 農業従事経験有 ☐ 研修済 ☐ 手伝い程度

2 主体作物

(1)	作物名	さつまいも(品種〇〇)
(2)	選定理由	近年、注目されている品種であり需要がある。収穫までの間に耐病性もあり、さほど手間もかからないため、栽培は容易である。保存がきき、販売ルートもあるため、管理が容易である。地元農家(譲渡人)及び農協に栽培方法等について指導を受ける。
(3)	生産資材・農機具等の購入方法	・栽培に伴う資材関係は、JA新ふくしま〇〇支店及びホームセンターより購入。 ・農機具及び農具類は親戚や地元農事組合から借り受ける。 購入が必要な場合は、JA新ふくしま〇〇支店及びホームセンターより購入。
(4)	販売方法・販路等	JA新ふくしまに出荷を計画している。
(5)	加入農協名	新ふくしま農業協同組合
(6)	今後の農地取得計画	今回取得後、経営が安定するまでは現状維持で考えている。 経営が軌道に乗れば規模拡大していく予定。
(7)	申請地周辺の耕作状況	・田は基盤整備された優良田であるため、水稻の栽培が中心である。 ・畑の周辺は、桑園が中心であるため休耕地が多い。今回の農地も遊休化しているが、遊休化からそれほど期間が経過していないので、野菜等の栽培で遊休農地の解消を図れればと考えている。

3 年次耕作計画及び年間農作業計画

	予定 作物名	作付面積 (㎡)	10a当たり 収量(kg)	総収量 (kg)	支出 (万円)	農業収入 (万円)
1年目	さつまいも	4,000	100	400	10	80
2年目	さつまいも	4,000	120	480	5	100
3年目	さつまいも	4,000	150	550	5	120
4年目	さつまいも	4,000	150	550	5	120
5年目	さつまいも	4,000	150	550	5	120

農作業計画	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
植栽・種まき					→							
施肥					→							→
耕作					→	→	→	→				
除草				→		→						
剪定												
摘果						→	→					
収穫								→	→	→	→	
販売								→	→	→	→	
その他											→	→
農機具管理		→	→									

計画の概要は以上のとおりです。なお、申請にあたり以下の点について誓約いたします。

- ☒ 上記計画に基づいて耕作し、農業生産の低下をきたすことのないよう最善の努力をします。
- ☒ 近隣耕作者等との連絡を密にとり、近隣の農業生産に支障を及ぼすことがないようにします。
- ☒ 耕作開始後はみだりに転用・転売をいたしません。
- ☒ 万一将来において止むを得ない事情により耕作できなくなった場合は、農業委員会に事情を説明し、その指導に従い措置します。

【外国籍の場合】

・国籍 () ・日本への入国年 ()
 ・在留資格 () ・日本における居住期間 (年 ～ 年)
 ・在留期間 (年 月 日 ～ 年 月 日)
 ・日本語の程度 ☐ 問題なく意思疎通が可能 ☐ 日常会話は問題ない ☐ 通訳者が必要

福島市農業委員会 会長 様

令和 年 月 日

住所(所在地) 福島市五老内町〇ー△

氏名(名 称) 福島 太郎